

# 2部

フィールド フィールド  
現場から現場へ

---

# 夢に向かって

OB MESSAGE

通信教育部社会福祉学科卒業生 今松 雄二

## はじめに

私は、特別支援学校教諭の免許状取得を目的に、東北福祉大学通信教育部に入学しました。在学中、多くの先生方に励まされ、仲間と出会ったことで、学びを広げることができました。そして、免許取得と教員採用試験合格の両方を達成することができ、今年の3月に卒業することができました。今回『With』への寄稿のお話をいただき、同じように教員免許の取得と教員採用試験に取り組まれている方の一助となれば嬉しく思います。

## レポート，教育実習

通信教育を始めるにあたり、入学説明会に参加した際に聞いた「学習の計画を立てることをお勧めします」というアドバイスから、まずは学習計画づくりから始めました。3年次ですべてのレポートと科目修了試験での単位修得、4年次に可能な限りのスクーリング受講と教育実習の実施を計画しました。

レポート作成では、テキストだけではなく、関連する書籍を2～3冊加えて読むよう努めました。レポート課題で問われていることはテキストに記載されていますが、同じ内容についても書籍によって視点は様々で、それらをまとめて一つの筋道を作ることで、より理解を深めることができました。また、先にも述べましたが、レポートを先に作成する計画を立てたことで、基本的なことをよく理解しておこうと思い、積極的に取り組むようにしました。

無事、全てのレポートを提出し、4年次に行う教育実習の申し込みをしました。実習校に依頼をしたのは1月と遅くなってしまったのですが、運よくも早く内諾いただくことができました。

教育実習は特別支援学校の中学部1年生のクラスで行いました。中学校に準ずる教育課程が実施されているクラスだったため、私は社会科で授業を担当させていただきました。生徒の皆さんはそれぞれが毎日を元気に過ごしていました。また、指導をしてくださる先生方も優しく教えてくださったので、過度に緊張せず集中して実習に取り組むことができました。

実習後、単位認定をもって特別支援学校教諭一種免許状を取得することができました。そして、教員採用試験に向けての学習を始めました。

## 教員採用試験に向けて

---

教員採用試験では、レポートやスクーリングで学んだ内容がとても役に立ちました。そこで、試験対策のテキストで勉強しつつ、足りないこと、理解が十分にできなかった内容は、レポート作成の時と同じように授業のテキストや他の書籍を基に、読み深めていくようにしました。また、関連法規や障がい児の教育史なども出題されるため、通信教育で学んだことをベースに未学習分野の学習に時間を当てて取り組みました。試験勉強の期間中には、スクーリングで出会った仲間と試験勉強について励まし合い、先に合格した方に体験談を聞いたり、試験勉強でも仲間の存在を大きく感じました。

教員採用試験の数か月後に合格通知が届きました。これも諦めずに通信教育で学んだ成果だと思いました。

## 最後に

---

教員免許の取得から教員採用試験の合格までを通信教育部在学中に果たすことができました。この間、何度レポートに躓き<sup>つまず</sup>、試験勉強に行き詰まったかわかりません。それでも続けてこられたのは学習サポートをしてくださった職員の皆様、スクーリングで出会った共に学んだ仲間の存在だと思います。私はこれからも、通信教育で学んだことを大切に、子どもたちと向き合っていきたいと思っています。

最後に、通信教育部で学ばれている皆さんの目的が達成され、社会の中で活躍されることを心から願っております。